



金明小学校だより

令和6年7月10日

加賀市立
金明小学校

安全に泳ぐために



着衣泳を体験しました

7月5日、加賀市消防本部の消防士さん5名をお招きして、4年生が着衣泳をしました。

消防士さんから、もしプールや海、川などの水に落ちた時の対処を教えてくださいました。その時はあわてないで、助けが来るまで、背浮きをして待つことが大切。大きな声で「助けて～」と言ったり手を振ったりすると、体の中にある空気が抜けてしまい、水の中に沈んでしまいます。叫ばない、手を振らないことも学びました。



衣服を身に着けて水の中を歩くこと（前向き、後ろ歩きやカニさん歩きのどれも）は、とても大変でした。

4年生の児童は、とても上手に背浮きができました。3分間ずっと浮き続けていられました。

また、もし水に落ちた人を見たら、空気の入っているペットボトルやボール（時にはランドセルもいいそうです）などを投げて、浮くことができるようにします。そのような時は自分から水に入って助けないことが大切です。

また、もし水に落ちた人を見たら、空気の入っているペットボトルやボール（時にはランドセルもいいそうです）などを投げて、浮くことができるようにします。そのような時は自分から水に入って助けないことが大切です。



また、この日の夜に育友会主催の「救命救急講習」をおこないました。夏休みの自由水泳で、監視の係をしていただく1,2年生の保護者のみなさんと教職員で学びました。加賀市消防本部の消防士さん4名から、どのようにするといったのか実技とともに教えてくださいました。

倒れている人がいたら、(プールではすぐに水から引き上げて)



- ①辺りの安全を確認する。安全が確認できたら
- ②倒れている人の肩をたたき、「大丈夫ですか」と声をかけ、意識の確認をする
(倒れている人に刺激を与え、反応を見る)意識がなければ、
- ③近くにいる人を呼ぶ「119番通報」「AEDをもってきてほしい」ことを伝える
- ④呼吸をしているか、胸の上下を確認する、呼吸が確認できない時は、
- ⑤胸部圧迫、人工呼吸をおこなう
- ⑥AEDがきたら、すぐに装着し、機械の音声の指示に従う
- ⑦救急車が来るまで、胸部圧迫、人工呼吸をおこなう(数名で交代しながら)

講習参加した全員が胸部圧迫、人工呼吸、そしてAEDの装着の実技をおこないました。消防士さんから「胸部圧迫は1分間に120回くらいで」「AEDは小学生でも成人モードで使用する」「救急車が来るまで、胸部圧迫と人工呼吸は続ける」「胸部圧迫は強く、速く、絶え間なく」「溺れている人を助けるときは後ろから近づくこと」などのポイントを聞きました。いざというときに落ち着いて動くための大切な学びになりました。ありがとうございます。

算数で、いろいろな角度や長さをはかってみたよ



中学年の算数の授業では、いろいろなものを使って角度や長さをはかっています。3年生は長いものや丸いものの長さ、4年生は角の大きさ。学校の中のものをはかってみると、意外に長くてびっくり。角度は工夫しながら考えて、計算しました。巻き尺や分度器の使い方がうまくなっていますね！



どこの数字を読むといいのかな？



学校の中にあるものはどのくらいの長さなのかな？予想してからはかります



授業の時間では最後まではかれなくて、休み時間に友達を集めてはかっていました

あさがおの花が咲いたよ



1年生が大切に育てたあさがお
1年生のみんなから
「先生、花が咲いたよ」と報告があります。
とても大輪の花です。
まだまだたくさん咲いてくれるといいね。



トマトの花が咲いたよ

トマトの実がなったよ

2年生はトマトを育てています。先日花が咲いていると思ったら、たくさんの実がなっていました。これから赤くおいしくなるね。

